



令和4年3月10日
横浜市旭区区政推進課
国立大学法人横浜国立大学
独立行政法人都市再生機構

＜左近山団地における大学生による地域支援活動モデル事業＞

大学生を中心とした取組を新たなまちの魅力として まとめたプロモーション冊子を作成しました。

横浜市旭区と国立大学法人横浜国立大学及び独立行政法人都市再生機構は、平成29年3月から「左近山団地における大学生による地域支援活動モデル事業※1」として、大学生が実際に団地に住み、自治会や商店会など地域の協力を得て地域活性化に取り組む事業を推進してきました。

令和元年12月には、横浜市の芸術創造特別支援事業を活用して団地内に開設された「左近山アトリエ131110※2」が取組に加わり、アートという切り口でも大学生の活動が広がっています。

このたび横浜市旭区は、こうした左近山団地での大学生を中心とした取組を新たなまちの魅力としてまとめたプロモーション冊子を作成しました。

今後も3者は、相互に連携して大学生による地域支援活動事業の活発化を図っていきます。

※1 地域の担い手不足解消と地域コミュニティの活性化のために、大学生が団地で地域活動支援を展開する取組

※2 団地内の左近山ショッピングセンターに開設されているアート拠点。スペースをレンタルして展示会やカフェ運営など、さまざまな方法で利用が可能

◆冊子の概要

B5判8ページで構成し、団地に居住する大学生をはじめとする地域の活動者へのインタビューや対談を通じて、活動の様子や左近山に対するそれぞれの想いを表現しています。この冊子は、取組に関心を持ち活動に参加・応援する住民を増やすために活用していきます。

データは横浜市旭区のホームページでも公開しています。

URL : <https://www.city.yokohama.lg.jp/asahi/shokai/SDGs/asahi-x-sdgs.html#00D9E>

◆専門家が解説する視点

この冊子では、取組の必要性について3人の専門家が「人口減少対策」、「ブランディング」、「プロモーション」の視点で分かり易く解説しています。

 <p>藤山 浩氏 一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 所長。 博士(マネジメント)。専門は、中山間地域政策、未来社会論、地域計画、地域分析(人口・経済)、地域づくり支援。著書に「日本はどこで間違えたのか」など。</p>	 <p>鶴見 裕之氏 横浜国立大学 大学院国際社会科学研究 院/経営学部 教授。 博士(社会学)。専門は、マーケティング。近著は「オムニチャネルと顧客戦略の現在」(千倉書房)、「消費者行動の実証研究」(中央経済社)等。</p>	 <p>河井 孝仁氏 博士(情報科学・名古屋大学)。東海大学教授。専門は行政広報論、シティプロモーション。『「関係人口」創出で地域経済をうるおすシティプロモーション2.0』、『「地域の人」になるための8つのゆるい方法』など著書多数。</p>
--	---	--

お問合せ先		
(この取組に関すること)	旭区区政推進課長	蒲田 仁 Tel 045-954-6025
(取組の横浜国大の関わり)	横浜国立大学 産学・地域連携課地域連携係長	草間 裕之 Tel 045-339-4455
(取組のUR都市機構の関わり)	UR都市機構神奈川エリア経営部ウェルフェア推進課	Tel 045-274-9282